

■ 商品開発の軌跡 電卓累計販売台数10億台を達成

History of Product Development

2006年12月、当社の電卓世界累計販売台数が10億台を突破しました。
これまでの歩みを通じ、当グループの商品開発と社会貢献への取り組みをご紹介します。

■ リレー計算機のメーカーとして創業

当社はリレー（継電器）を用いた計算機の開発成功により1957年に設立。同年に出荷を開始したリレー計算機「14-A」は、342個のリレーで14桁の四則演算を可能にした画期的な製品として、大企業や研究機関を中心に高い評価を獲得しました。



■ リレー計算機から電卓へ

1965年、リレー計算機で培った技術を発展させ、トランジスタを用いた電子式の卓上計算機「001」を開発。計算結果を記憶できる、世界初のメモリー付き電卓として、好評を博しました。以後、電卓市場には最大50社近くが参入し「電卓戦争」と呼ばれる激しい競争を展開しました。



■ パーソナル化による市場創造

1972年、企業向け商品であった電卓を個人用にすべく、カシオ計算機は当時としては画期的な価格の12,800円で「カシオミニ」を発売。発売後10ヵ月で累計販売台数100万台を突破し、シリーズで計1,000万台に及ぶ大ヒット商品となりました。「カシオミニ」の登場により多くの企業が市場から撤退し、電卓の価格競争は終焉を迎えます。



1965年
電卓販売開始

1972年
100万台・200万台
達成

■ 半導体産業の発展に貢献

「カシオミニ」の成功により、電卓はパーソナルツールへと変貌を遂げ、市場は急速に拡大していきました。この過程でLSIの大規模な需要を創出するとともに、LSIの集積度向上を促進し、半導体産業さらにはエレクトロニクス産業の発展にも寄与しました。



■ 究極の小型化

価格競争の次に、電卓市場に訪れたのは小型化・薄型化競争でした。1983年、当社は高密度実装技術を駆使し、厚さ0.8mmの究極のカード型電卓「SL-800」を発売。小型化・薄型化競争に終止符を打ちました。



■ 数学・算数教育に貢献

1985年、初のグラフ描画機能を備えた関数電卓「fx-7000G」(写真)を発売。1992年には日本の小学生向けに学習電卓を、2004年には分数や $\sqrt{\quad}$ などを教科書と同じように表示できる関数電卓を発売するなど、教育に役立つ電卓の開発にも積極的に取り組んできました。現在では数多くの国で電卓が教育現場で活用され、数学・算数教育に貢献しています。



■ たゆまぬ努力で進化を続ける

2006年12月、世界累計販売台数が10億台を突破。素早く正確な計算が誰にでもできる利便性を提供し続けて40年余、現在、カシオの電卓は世界120カ国に普及し愛用されています。また、電卓で培った技術を活かし、電子時計、電子辞書(写真)、デジタルカメラ、携帯電話など様々な製品へと進化させ、需要を創造してきました。当グループでは今後も電卓の進化を担うとともに、独創的な商品づくりに注力し、人々の暮らしをより豊かにする新商品を開発していきます。



1974年
1,000万台達成

1980年
1億台達成

2006年
10億台達成

業績のご報告

現在の動向

DATA